

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

【特集】保育現場で気になるコトバ考

「安全」って何だ？

【新連載】保育の世界を豊かに生きる子どもたち

教える体験と教えられる体験

【新連載】古典の散歩道

『くるみわり人形とねずみの王様』

春

2014

since 1901



ふふっ

こいのぼりに 足が はえた！

子どもの情景

# 目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

## 【写真】

子どもの情景 ①

## 【目次 まど】

新しい「まど」から ②

## 【特集】

### 保育現場で気になるコトバ考 1

#### 「安全」って何だ？

幼児にとって安全とは？ 木下勇 ④

今回の特集について ⑧

「安全」は日々の保育の充実から 當銀玲子 ⑩

アメリカの保育・教育施設における安全意識 — 訴訟社会のジレンマ — 中島千恵 ⑭

『幼児の教育』アーカイブズから 解説・矢萩恭子 ⑳

## 【シリーズ】

### 子どもが育つ場所から

子どもと音楽の出会い場をつくる 石川眞佐江 ②⑥

## 【実践研究】

### 私の保育ノート

笑顔あふれるプレイルームを目指して 鈴木のどか ③④

私の大好きなところ 寄藤陽子 ③⑧

## 【保育エッセイ】

### 保育の世界を豊かに生きる子どもたち ①

教える体験と教えられる体験 榎沢良彦 ④②

## 【本棚】

### 古典の散歩道

『くるみわり人形とねずみの王様』 皆川美恵子 ④⑥

## 子ども学探訪

### 編輯顧問 倉橋惣三 とキンダーブック ⑨

二つの草花特集にみる編集の方向性の揺らぎ  
— 第3輯第1編、第6輯第1編の「草花」—

浜口順子 ————— 52

## インタビュー

### 倉橋惣三先生の教えを受けた保育者 永倉みゆき・山下紗織

————— 56

## 研究

### 『幼稚園』の原著者ベルタ・ロンゲのルーツをたどる 4 ベルタの波乱の後半生 (続)

ディーター・レドナック ・ 翻訳:ベルガー有希子 ・ 解説:大戸美也子 ————— 64

## 子ども学のひろば

### 学会 研修会情報・読者投稿・編集後記他

————— 71

## まど

## 新しい「まど」から

『幼児の教育』は季刊になって丸三年、計12号を数え、お陰様で四年目に入ります。1901年創刊から月刊誌として一世紀余り、十二進法で進んできたリズムに乗って、今号は表紙と内容を一部リニューアルしました。

創立138年目となるお茶の水女子大学附属幼稚園の、遊戯室の窓に使われている古いステンドグラスを模した表紙にちなみ、本欄も弊誌の入り口から中をのぞき見る「まど」として一新します。

巻頭特集では「保育現場で気になるコトバ」をピックアップし、狭い保育現場の内側と外側のコトバ(価値観)の温度差を感じ

考え直す場を提案していきます。第1回目のテーマは「安全」。東日本大震災と原発事故以来、日本の人々は一層「安全」とはかくもろいものかと認識せざるを得なくなっています。「安心」を求め、その上に安住できる地位や状態を求める時代は終わり、積極的に多様な人々とかかわりながら「信頼」を築き、ネットワークを広げ、持続的な関係をダイナミックに創造し続ける知と技が求められるようになっていきます。

本誌も、日本各地、また海外へのネットワークを広げ、多様な視点からの論考や情報をお届けしたいと思います。(H)

## 編集後記

昨年十一月末に気仙沼市の幼稚園を訪問する機会がありました。小学校の教室を仮保育室として過ごし、九月に新園舎が完成。新園舎での生活を始めて三か月がたったというところでの訪問でした。仮保育室で過ごしていた間は小学生と出会えるという良さはあったけれど、苦勞も多かったようでした。新園舎が完成し、そこでの生活を始めて一番うれしかったのは「子どもたちが思い切り走り回ることができる!」ということだった、という言葉聞いて、胸が詰まる思いがしました。子どもたちが元気に走り回ることができる場所、大きな声で歌ったり笑い合ったりできる場所、伸びやかに安心して過ごせる場所。幼稚園は、そういう場所なんですね。

漁は再開し、お魚市場には活きのいい魚がたくさん並んでいましたが、被災した場所はほとんど更地のままで、仮設住宅での生活は長く続き、元通りの

生活に戻るのには、まだずっと先のことのようにでした。

復興への道のりは果てしなく遠いように思えるけれど、いつか必ずたどり着けると信じて歩み続けている被災地の方々の強さと優しさに触れながら、私たちも、できることをできる形で一緒に、という思いを強く持ちました。新しい春が来るたびごとに、確かめたい大切な思いです。

本誌が季刊誌となって四回目の春が来ました。三年を一区切りとして内容や装丁を新しくしました。語り合いの中心に「子どもの姿」を置くという姿勢を貫きながらも、今求められていることは何なのか、発信したいことは何なのか、意見を出し合いました。表紙デザインや各コーナーの名称やロゴについても変えてみました。新しくなった『幼児の教育』です。どうぞお読みいただき、ご意見やご感想をお寄せください。楽しみにしています。(M)

## 次号予告 幼児の教育 夏号 2014年6月刊行予定

新企画も好評! 充実した内容でお届けします。

特集 保育現場で気になるコトバ考 2 - 「研修」って何だ? - 三輪建二氏ほか

論考 幼小接続の授業実践 松村英治氏

コーナー 古典の散歩道 第2回 室田一樹氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 春号 第113巻 第2号

平成26年4月1日発行  
編集発行人 / 浜口順子  
編集担当 / 田中恭子  
発行所 / 日本幼稚園協会  
〒112-8610  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所 / 株式会社フレーベル館  
電話:03-5395-6604(編集)  
振替 / 00190-2-19640  
印刷所 / 図書印刷株式会社  
定価 / 800円(本体741円)  
©日本幼稚園協会 2014 Printed in Japan

編集委員 / 上坂元絵里  
菊地知子  
高橋陽子  
宮里咲美  
編集協力 / フレーベル館

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

# 毎日がんばっている お父さん・お母さんへの贈りもの



子どもは子どもを  
生きています

写真・ことば 小西貴士

## 子どもは 子どもを 生きています

写真・ことば：小西貴士

森で野原で、今を生きる子どもたちを、10年以上に渡り、いっしょに遊びながら撮り続けてきた作者が紡いだ珠玉のフォト・エッセイ。今、子どものそばに居る大人たちの間で、静かに話題となっています。

私たち大人が、子どものことを愛おしく想えるときも、そうでないときでも、変わらぬ子どもの愛おしさを語りかけてくれる一冊。今を精一杯生きているあの人へ、プレゼントしても喜ばれる素敵な一冊です。

定価 本体1,600円+税  
76ページ 24×18cm

10941

好評発売中！  
子どもと森へ  
出かけてみれば

定価 本体1,500円+税  
76ページ 24×18cm

10920

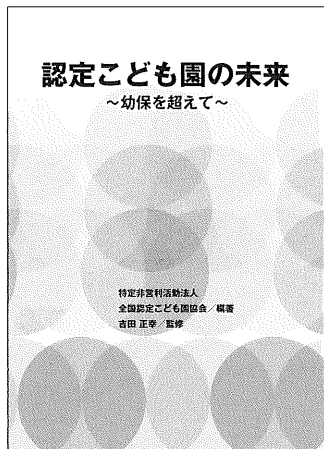


子どもと森へ  
出かけてみれば  
写真・ことば 小西貴士



# この1冊で“認定こども園”がわかる!

認定こども園について、制度&実践事例をくわしく、わかりやすく紹介。



10942

## 認定こども園の未来 ~幼保を超えて~

厳選された24園の優れた事例と、わが国を代表する研究者・有識者のコメントにより”認定こども園”の未来がわかる。

特定非営利活動法人 全国認定こども園協会 / 編著  
吉田正幸 / 監修

定価 本体2,400円+税  
280ページ 21×15cm

### 内閣府

政策統括官(共生社会政策担当) 付  
参事官(少子化対策担当)

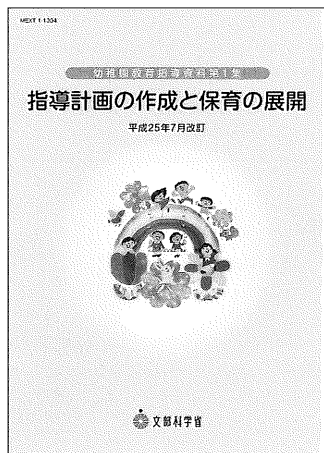
長田浩志氏

推薦

### 特長

- ① 全国から出色の24園の事例を紹介
- ② 保育界を代表する9名の研究者・有識者が執筆  
(わかりやすい制度解説 / 気になる海外+OECD諸国の動向)

# 指導計画作成の基本がわかる! 実践事例が豊富な公式解説書



29401

## 幼稚園教育指導資料第1集

## 指導計画の作成と保育の展開 (平成25年7月改訂)

幼稚園教育要領を踏まえた指導計画の作成と保育の展開、評価について、具体的な事例とともにまとめて解説。

文部科学省 / 著

定価 本体250円+税 168ページ 30×21cm

### 指導計画の基本的な理解と実践に役立つ事例を豊富に掲載

指導計画作成の基本的な考え方ははじまり、教育課程・年間指導計画・月案・週案・日案・保育中のエピソードなど豊富な事例により、指導計画の理解と作成・展開に役立つ資料です。

### 「保育の質」を高める評価・改善につながるポイントを解説

保育の評価・改善の重要性が高まる中で、指導計画の評価・改善の具体的な手順とポイントについても解説。研修で活用することで、保育の質の向上につながります。

# 世界が注目するイタリアの乳幼児教育

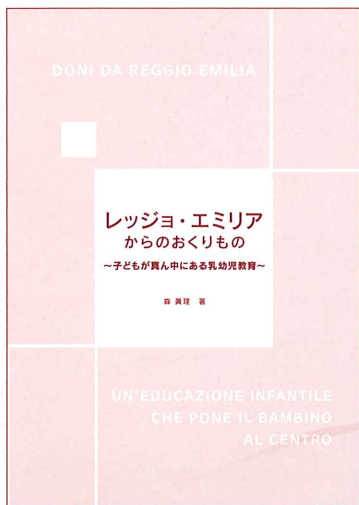
## レッジョ・エミリアからのおくりもの

～子どもが真ん中にある乳幼児教育～

森 眞理 / 著

### POINT

- 1) イタリア発、世界最高水準の乳幼児教育の歴史を紐解く
- 2) 世界に広がるレッジョ・エミリア・アプローチの実践例を紹介
- 3) 特別企画：日本の研究者・実践者による座談会を掲載



10940

## イタリアにこそ生みだされた マエストロ実践

今、世界で最も注目されているレッジョ・エミリアの思想と実践のエッセンスがポイントを絞って実に要領よく解説されている。歴史づくり、街づくり、市民育てを含めてレッジョ実践を意味づけたのは本書がはじめてではないだろうか。

推薦：汐見稔幸（白梅学園大学学長）

定価 本体1,700円+税 21×19cm 80ページ

## 世界に広がるレッジョ・エミリア市の乳幼児教育

定価 八〇〇円(本体七四一円) ☆



廊下もアート空間。光のテーブル (イギリス)



宇宙プロジェクトの空間 (スウェーデン)



ブルースクールの「青の廊下」 (アメリカ)

キンダーブックの **フレーベル館**

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所  
または本社営業推進部 (03) 5395-6608にお問い合わせください。